

謀略をあげく

戦争の長引くにつれて戦争に對する感受性が薄れつゝあるのは事實の極である、これも動中野ありさつた心のゆきりから生れる弊の太りに移行して少々このころに思ひつけない結りが出てくることなほ却つて喜ばしむる向だが案外そうでない諸現象を見受ける、即ち日常生活に對しての無機面に神経を奪はれて戦争を軽く見て居る點がないでもない、スパイ云ふものはこゝろに國民生活の無機面をどうも見すましてその中でもなるべく弱き所を徹底的に潰すべく後諸君の中には今年の三月頃の新報で「日本に對する降服條件」といふ馬鹿々々しいアメリカ案が發表されたことを御存知であらうと思ふのであるが、いくらせつかなヤンキーどもは云

一粒の莩麻(ヒマ)も大切に！ 大政翼賛會奈良縣支部 決戦下重要な潤滑油の原料たる莩麻(ヒマ)は昔さんの努力で今年にはよく生育しまして播種の前にもはばばつ／＼採果し得るようになつてゐますが充分に熟してから採果して欲しいのであり

「戦争の見透もつけられないのになぜこんなことを發表したのだらうか？ 彼等の意圖するところを究明すべきである、條件の内容さういふのは 戦後日本に残つたすべての軍艦、軍用機、戦車、大砲を彼等に引渡すこと、すべての海軍基地、防衛施設をなくし陸軍の解散、裝備費材の引渡、大陸と太平洋にあるすべての日本占領地の引渡し、聯合軍による日本本土の占領、最後は陸海軍高級將校、官吏、新聞記者、産業指導者の處刑さういふ七ヶ條に上るのである。この内容を検討して見るに初めの六項目の狙ひは、もし日本に敗戦主義者があるとしたならば日本を丸裸にする様な苛酷な條件を並べたことによつてそれらの人々に恐怖心を起させ、いつ知らずの人たちに反戦感、戦的な流言をいひふらさせよう即ち英米が無差別爆撃をやりつ

さしたものであり、最後の一項「その混亂に乗じて米英は善良な伊太利人を相手に戦争しやう」とは思はない、眞の敵はムソッリーニとフランクソールだ、だからそれ以外の者は米英につけ決して無茶なことはしない。そのデマ宣傳やつたその聲の手につかり踊つたバトロオが國家の前途に對する見透を誤つて自ら自身利益に敵の勝の手に乗り信念のない目先の自由主義巧利觀念に幻惑して請單に手を舉げてしまつた降参してしまつたのである。 豈にらんやその伊太利人は今日安居樂業を得て居るであらうかバトロオの樹立した政府は未だに米英すら承認して居ない有様でないかそれのみか軍艦は米英の三國が出分けするし皇帝はやめられるし聞くも無様な結果を招来して天下にデマの恐ろしさを示す見本になつたのである。(つゞく) (特高課)

「戦争の見透もつけられないのになぜこんなことを發表したのだらうか？ 彼等の意圖するところを究明すべきである、條件の内容さういふのは 戦後日本に残つたすべての軍艦、軍用機、戦車、大砲を彼等に引渡すこと、すべての海軍基地、防衛施設をなくし陸軍の解散、裝備費材の引渡、大陸と太平洋にあるすべての日本占領地の引渡し、聯合軍による日本本土の占領、最後は陸海軍高級將校、官吏、新聞記者、産業指導者の處刑さういふ七ヶ條に上るのである。この内容を検討して見るに初めの六項目の狙ひは、もし日本に敗戦主義者があるとしたならば日本を丸裸にする様な苛酷な條件を並べたことによつてそれらの人々に恐怖心を起させ、いつ知らずの人たちに反戦感、戦的な流言をいひふらさせよう即ち英米が無差別爆撃をやりつ



決戦下の村風の盛況は進む 極付健康、血統多産、薬工品製作技術一等賞受領 田植能力一日二反半、防空訓練、敵勇敵模範的 荷物は御覽の通り牛ぐるり農器具身の麗りのものだけで 誠懇如何でございますか御氣に召しませんでしようか 好親、やあ話です實に理想的です

編輯室より 題號も同じ大和の隣組にて八喜大和の隣組は本年四月號を月號を初號として新しく發足す 最終として一應慶刊し、今回改ることになった。 奈良縣内政部地方課發行。

大和の隣組

隣保組織に魂を

地方課長 所 秀 雄

敵機わが領土に侵襲し來り、祖國興亡の岐路に立つ。七十萬縣民は、すでに戦闘配置についてゐる。今は、心を一にし、一意勝利の獲得に突進するのみ。

昭和十五年に部落會・町内會等が、全國一齊に組織され、わが奈良縣亦、部落會・町内會二千四百餘り、隣組一萬二千數百にのほる。更に、昨年度、市制町村制の改正あり、部落會・町内會制度は、法制化され、市町村の下部組織として、圓滑な活動を保障せられることとなつた。組織されてから三ヶ年有餘、部落會・町内會が、市町村の下部組織として、國民運動の實踐組織として、果して來た役割は大きい。けれども、果して、悉くが、決戦下にふさはしい活動、旺盛な機能を發揮しつゝありや否や。目前に敵を控へ居る今日、物心兩面にわたつて敵前陣組の態勢は完備し居るや否や。今こそ、一人一人が部落會・町内會・隣組の任務を想起し、その運聲に魂

八月 號

昭和九年七月二十二日 印刷  
昭和九年八月一日 發行

發行人 所 秀 雄  
編輯人 岡 田 大 郎  
印刷所 吉 村 印刷所  
發行所 奈良縣地方課

- 一、隣保組織に魂を
- 二、八月の常會徹底事項
- 三、戰場は本土に迫つてゐる
- 四、貯蓄問題
- 五、防空訓練
- 六、種織維の非常増産について
- 七、謀略をあげく
- 八、一粒のヒマも大切に

を、活を、入れる必要がある。隣保組織の目的は如何。その第一は、隣保團結の精神に基き市町村内住民を結合し、萬民眞實の主旨に則つて地方共同の任務を遂行することである。部落・町内會は隣保團結精神の結晶であり、市町村住民結束を固うして地方公共すべての任務を全うする——これで始めて、市町村の行政も住民の實生活も血が通ふし、打てばひびく國內體制もできる。

その第二は、國民の道徳的鍊成と精神的團結を圖る基礎組織たることである。常會を通じて相互に切磋琢磨する、共に憂ひ、共に樂しみ、相携へて強く明るく生き抜く。そして、あらゆる困苦に耐へ、勇邁なる氣魄を以て進むのである。

その第三は、國策を汎く國民に透徹させ、國政萬般の圓滑な運用に資することである。部落會・町内會・隣組が一条亂れざる上意下達の機能を發揮し、國の施策を迅速に、明確に受け容れる、そして、一人残らず政府に萬福の信頼を寄せ、國策を日々の生活に吸収し、國家の意圖に參するるのである。

その第四は、國民經濟生活の地域的統制單位として統制經濟の運用と國民生活の安定上必要な機能を發揮することである。部落會・町内會は、われわれの生産消費生活の基礎であり單位である。農村にあつては、特に、食糧の増産供出、資材の配給等の任務を遂行し、都市にあ

つては、特に、物資の配給、生活の簡素化、協同化を促進する。われらの部落會・町内會、われらの隣組は、一々、この目的に沿ひつゝありや。——會長・組長は躬行垂範、熱意を以て指導に當りつゝありや。會長・組長を家長として眞に一族の體制をなし居るや。一つの物でも感謝し分け合ふ温い人情の交流ありや。市町村の行政は、隣組各戸まで透徹し居るや。われらの鍊成道場たる常會の運営は如何——一度も開かぬ中だるみの常會はなきや。不平不満の温床になり居ることなきや。配給常會の弊なきや。たらん／＼常會で職分奉公を妨げ居ることなきや。聽呑みの傳達報告に追はれ居ることなきや。有産階級・知識階級の協力態度は如何、出席状況は如何、婦人の活動は如何。それだけでは足りない。既に敵機は來たのである。一分の狂ひなき防衛態勢は完了し居るや。物心兩面に互る防空隣組の配置は完備し居るや——今こそ、各戸各人眞剣に反省しようではないか。

今日、この秋、前線將兵は、サイパンでは銃執らぬ婦女女子さへ、血を以て戦ひ抜いたのである。その姿に思ひを馳せるべき、誰か泣いて起ら上らざる者があらう。火の如き團塊必勝の信念を以て、最後まで頑張り抜けば必ずや、紫電一閃、米英を破砕するの日は来る。——信は力なり。自ら信じ毅然として戦ふ者常に克く勝者たり。(敵陣訓)



# 八月の常會徹底事項

## 「常會を一層眞剣に」

未層有の難局に當面してゐます。仇敵を打ち滅ぼすためにも、我が國土を護るためにも、私どもの眞の底力を發揮するのは今です。今こそ私どもは一丸となつて奮ひたち、互ひに助け合ひ、勵まし合ひ、この國難を突破する決意を固め、今月の常會は特に次の事項を話し合つて必ずこれを實行させよう。

- 1、常會は、この戦ひを勝ちぬくための重要な相談をする集りです。お互ひは一層眞剣な態度で行ふこと。
- 2、これまでの常會は、この難局にたつと國につくすため、少しでも手ぬかりがなかつたかどうかを深く反省し合ひ、更らに心を新にし、精一杯御奉公につとめること。
- 3、當局の指示をよくきき、自分勝手な判断で戦局を語つたり、徒らな不平不満などはやめて、強く明るく戦ひぬくこと。

# 大 和 一 致

## 貯蓄問答

問 空襲で災害があつた時、現金を持つて居らなければ困るか

答 銀行が被害を蒙つても、郵便局が碎かれても預金、貯金は絶対安全である。「判がなくても」「通帳がなくても」必要に応じて規定の「時間外でも」現金ですぐ拂戻しが出来るやうになつてゐる。だから現金を持つてゐなくてもよい。安心して貯蓄するがよい。非常時に於ける預金、貯金、保険金等の取扱を簡単に説明するにござつたの通りである。

- 1、空襲の場合預金、貯金、保険金の支拂が制限さたり、停止される事は絶対にはいばかりでなく定期据置、積立、金銭信託等期限のある預金、貯金でも必要に応じて罹災者に対しては期限前に拂戻しが出来る
- 2、國債貯金、國債郵便貯金も必要に応じて罹災者に対し現金で拂戻され、國民貯蓄組合の預金、貯金は組合長の印鑑なしに拂戻されます
- 3、罹災地区の金融機關に預けてある預金や貯金は預け先以外の銀行、郵便局で便宜拂戻しが出来、又内地等の間に於いても拂戻しが出来る
- 4、戦時災害のため避難した者には移轉先の銀行、農業會、信用組合に預金を移し換へる事が出来ることになつてゐる。なほ疎開者の場合も取扱はれるから利用するよ。
- 5、銀行、信託會社で扱ふ國債や券の買上限度は一人一日國債二百圓、債券五十圓であるが罹災者に対しては夫々千圓、二百圓迄引上げられる
- 6、罹災者で一時應急的に生計資金(治療費も含む)が必要な場合は庶民金庫、その代理者である無業會社、信用組合で簡易に融通される。罹災者の受取る生命保険金の支拂請求はその會社の本店、支店の外他生命保險會社の營業所でも受付ける事になつてゐる

## 共同炊事一石二鳥

決戦農村の勞力を少しでも生かして増産に努めるためには、すべての生活を協力してゆかやう心掛けることが最も大切であると思ひます。協力の生活から今まではつたことのない楽しい喜びが生れ、豫期しない大きな力を生むことが出来るのでありまして、共同炊事はその一つであると思へます。共同炊事は縣下でも日婦會員の努力によりまして各地で實施されて居りますが、この施設によつて農繁期の勞力不足時に、各家庭に於ける炊事の手間が省かれるばかりでなく炊事に對する婦人の心配がなくなり、又食事に對する好き嫌ひが直り營養が充分に攝れるので疲勞が少くなり、更に副食物が充分なため節米にもなり猶その上大きな收穫をして一つ釜の御馳走を頂くことによつて部落大家族精神が培はれ、決戦下お互の力も境遇を最もよく生かして生産に協力することが出来る。

## 雑纖維の非常増産に就いて

### 大政翼賛會奈良縣支部

戦局が刻一刻峻烈の度を加へて参りますに伴ひ、軍需並に民需に充當される雑纖維資源が大量に要求されることになりました。元來我國の雑纖維資源は棉花・羊毛等大部分は外國資源に依存してゐたのでありますがそれが出来なくなつた結果これが給源を蘭糸、國內麻、人造纖維等に依つて賄つて來たのであります。然るに戦局の急迫に伴ふ大消耗戦下に於いて要請される大量の雑纖維は最早右の國內資源に依つて賄ふことが殆んど不可能となつて参りましたので政府に於かれましては國內山野に自存する桑皮、野生芋麻、竹、竹の皮、かなむぐら、藤皮、葛皮、寬麻皮等の野生雜纖維を採集生産することに決定致され

## 戰場は本土に迫る

必勝防空に抜かりはないか  
敵機はいつ何時どんな場所にも來るものと覺悟してゐなければならぬ。

◎警報發令と用意  
服装、非常袋、非常携帶食糧、身許票等の準備、老人や幼児の待避、家の内の處理取り片づけ

◎燈火管制の徹底  
北九州空襲の時燈火管制が不充分であつたため、その漏光を目あてにえらひ片田舎に投擲された例がある

◎待避所の完備  
場所が悪いとつまらぬことで負傷することがある。掩蓋物の必要、掩蓋は二三寸の太さの材木を穴の兩側に一尺位ひづ、出張るやうに渡してその上に蒲團を載せること張板を渡した上に墨を二枚敷くといふやうな程度でも爆風は頭上を通り越し、高射砲の破片や彈片、爆風で吹き飛ばされた木片、瓦なども或程度防げる掩蓋のない待避所に入る場合には、必ず敷蒲團・掛蒲團などの厚い蒲團を上に乗せることが必要である。敵機が反復來襲する場合は長時間待避所内である時であらうからその點も豫想して準備すること。

◎空襲下の流言飛語は特に注意すること  
更に必要なのは烈々たる闘戦である

◎國土防衛こそは今次戦争に於ける重要な戦力であるから消極的にのみ行動せず、空襲が去つた見ると直ちに隣組戦友助け合ひ、消火に、救出救護に、又は生産に敢然として活動すること

空襲の目的は要するに二つである。一つは國民の士氣を阻害せしめること、もう一つは生産を低下させることである。

幾度來たることも何を小癩な敵機をタ、キ落し「日本はいくらやつても齒が立たぬ」敵機をして辟上けしめることこそ防空戰隊員としての責務である。

來るのであります。殊にいつ敵機が来るかもわからない今日、農村にはす町といはず隣組共同炊事施設の設置は、空襲の混雑時にも非常炊出しが迅速且簡易に行はれ、又都合よく配給も行きたること、なりその効果は實に莫大なものがあると思ひます。

先日農繁期に於ける共同炊事の状況を視察し非常な好成績を挙げ居られる實例を見致しまして、一層この施設の重要性を痛感し、に婦人會員の熱意によつて、この種施設が今後戦ふ農村は勿論各地でも續々開始せられんことを切望致します。共に時局下更に一步を進めて常設的にまで發展いたしますことを念願して止まない次第であります。

猶農繁期に於ける共同炊事には保育所を併設することが大切なことであり、兩者相俟つてその効果を一層大ならしむるものであることを蛇足ながら附記致しまして拙筆いたします。(大日本婦人會奈良縣支部訂定)

況く全國民に懇へてこれが非常増産を強行されることに相なつたのであります。

そこで我奈良縣に對しても桑皮、野生芋麻、竹、竹皮、かなむぐら、藤皮、葛皮等の生産を相當量割當られたのであります。割當數量は發表致しかねますが各市町村農業會、翼賛會市町村支部が責任團體として縣民の皆様にこれが生産を御願ひ致すことになつてゐますから是非共割當られた數量だけは増産していただきますのです。

我國現下の織維事情を考へます時、國民の衣料資源は勿論絶對必要な軍需雜纖維、生産力擴充用雜纖維等相當窮乏になりつゝ、ありますので決戦下食糧に優ることも劣らない雜纖維資源の重要性を御認識がひまして是非共増産していただきますのであります。

詳細については市町村農業會で御聞き下さい。